

令和5年 全国安全週間スローガン

高める意識で 安全行動

築こうみんなのゼロ災職場

～7月1日から7月7日までは第96回全国安全週間です～

皆様には、日頃より広島県労働基準協会並びに三原支部の事業活動にご理解、ご協力をいただき厚く御礼申し上げます。

三原支部は、6月2日（金曜日）三原リージョンプラザ、6月6日（火曜日）三井金属鉱業（株）竹原製煉所保健会館、6月8日（木曜日）河内保健福祉センターにおいて、安全週間説明会を開催しました。

第96回 全国安全週間説明会を開催!!

三原支部では、全国安全週間準備期間中の6月2日、6日、8日の3日、来賓に三原労働基準監督署の村上署長、三宅安全衛生課長を迎え、第96回全国安全週間説明会を開催しました。

説明会の冒頭に村上署長より挨拶をいただき、最初に、賃金引き上げに関して、近年、大幅な最低賃金の引き上げが行われており、継続的な賃金引き上げは、政府を挙げての重要課題となっていること、このため、厚生労働省においても賃金引き上げ特設ページを開設するとともに、今年度も中小企業を対象に賃金を引き上げ、生産性向上のための設備投資を支援する制度、業務改善助成金を用意しているとの説明がありました。



三原会場

今年度の全国安全週間のスローガン「高める意識で 安全行動

築こうみんなのゼロ災職場」は、労働災害を少しでも減らし、労働者一人一人が安全に働くこと



竹原会場

のできる職場環境を築くため、今年、策定された第14次労働災害防止推進計画に基づく施策を着実に推進することが必要で、特に初年度である令和5年度は、労使一丸となった取り組みが求められていることから、このスローガンとなったものであると説明がありました。労働者が安全に働くことのできる職場環境を築くためには、労使双方が作業手順書等、労働災害防止のための基本ルールの順守、実行を徹底するとともに、問題意識をもって職場環境の改善に向けた努力が必要で、これに向

け、事業場として意思統一、業務体制の構築をお願いすると話がありました。

皆様方の職場に、若い方、経験の浅い方も在籍されていると思いますが、この方々を含め労働者全員が、災害に遭うことも災害を引き起こすこともないように、基本的な作業手順の遵守をはじめ、安全教育の徹底、各労働者の技量を見極めながらの指示、指導等、適切な労務管理、安全

管理を徹底していただきたいとも述べられました

また、災害が多くなるケースとしてメンテナンスなどの非定常作業があり、大きな事業場においては、協力会社も構内に入り一緒に作業を行う場合も出てくると思いますが、この場合、親会社と協力会社とが一丸となった取り組みも必要で、作業に当たっては、作業に伴う情報や認識を協力会社も含め共有することを徹底していただきたい旨の話がありました。

最後に、本安全週間を通じて、業務として、平素の安全管理、安全意識について再確認していただき、引き続き災害防止に努めていただくようお願いすると述べられたところで



河内会場

村上署長の挨拶に続き、三宅安全衛生課長より労働安全に関するトピックスなどについて説明があり、まず、全国安全週間について、産業界における自主的な労働災害防止活動を推進するとともに、広く一般の安全意識の高揚と安全活動の定着を図ることを目的として昭和3年に初めて実施されて以降、一度も中断することなく今回で96回目を迎え、この間、各事業場において労使で協調して労働災害防止対策等が展開され、皆様方の努力により長期的に見ると労働災害はかなり減少してきているとの話がありました。

しかしながら、近年は就業人口の高齢化が進んで、転倒、腰痛といった労働者の行動に起因する災害が増えてきており、令和4年の広島県内の労働災害の発生状況においても、死亡者数は27名で、過去最少を記録した令和3年の11名に比べると大幅に増加し、休業4日以上死傷者数は、新型コロナウイルスを除き3,140名と前年より117名減少しているものの3,000名を超える方が災害に遭われていること、三原署管内の死傷者数も、新型コロナウイルスを除き152名で前年より10名減少し、過去最少の平成27年と同数の死傷者数であったが、死亡災害は2件発生している状況であると説明がありました。

この労働災害を減少させるには、労使が一体となって労働災害防止のために基本的なルールを守り実行することが必要で、その為には時間的に、人員的に余裕を持った業務体制を作っていくこと、各労働者一人一人が安全に働くことのできる職場を作るといった意識を持つことが大切になるとの話がありました。

また、平成30年からの第13次労働災害防止推進計画において、三原署管内では令和4年において死亡災害0件、死傷災害を144件に減少させることを主な目標として取り組んできましたが、いずれも未達成となっていること、令和5年より取り組まれる第14次労働災害防止推進計画の概要について、①自発的に安全衛生対策に取り組むための意識啓発、②労働者の作業行動に起因する労働災害防止対策の推進、③高年齢労働者の労働災害防止対策の推進など、「8つの重点対策」に基づいて計画が推進されるとの説明がありました。

その後、全国安全週間及び準備期間中に実施していただきたい事項6項目について説明があった後、「STOP！熱中症クールワークキャンペーン」等に関して説明をいただき、監督署からの説明が終わりました。

監督署からの説明に続き、三原地域産業保健センターの福濱コーディネーターより、同センターが実施している産業医の選任義務のない労働者数50名未満の小規模事業場へ提供できる産業保健サービスについての説明がありました。

最後に、協会からの連絡事項についてお話しし安全週間説明会を終了いたしました。

◇今後の三原支部関係行事・講習予定◇

- ・ 8月 3日 第1回労働衛生部会（三原市中央公民館）
※ 会場確保の都合で、当初計画より開催日を変更しています。
- ・ 8月23日 第36回ゼロ災運動研究集会（県民文化センターふくやま）
※ 今年度は、三原支部より安芸津分会の三菱場工業(株)呉工場 安芸津工場の方による事例発表が予定されていますので、多くの方の参加をお願いいたします。
- ・ 9月 5日 全国労働衛生週間説明会（三井金属鉱業(株)竹原製煉所保健会館）
- ・ 9月 7日 全国労働衛生週間説明会（河内保健福祉センター）
- ・ 9月 8日 全国労働衛生週間説明会（三原リージョンプラザ）
- ・ 9月14日(木)～15日(金) 職長等教育・安全衛生責任者教育（三原サン・シープラザ）
- ・ 9月27～29日 第82回全国産業安全衛生大会（名古屋市・ポートメッセなごや）
- ・ 10月3, 5日 全国労働衛生週間 事業場視察
- ・ 10月12日 第2回労働衛生部会（三原市中央公民館・予定）
- ・ 11月10日(金)～11日(土) ガス溶接技能講習
(学科・三原サン・シープラザ、実技・今治造船広島工場)
- ・ 11月14日 第47回広島県産業安全衛生大会（広島市・JMSアステールプラザ）
- ・ 11月16日 労働安全・衛生表彰式（三原市中央公民館・予定）
- ・ 令和6年 1月26日 第2回幹事会、分会・部会実務担当者会議及び研修会
(三原市中央公民館・予定)

※ 行事はあくまでも予定であり、衛生週間視察についても中止する方向で検討しています。
また、会場確保の関係から日程変更等の行事等も出てきます。

◇追加・変更された本部講習等◇

- ・ 石綿作業主任者講習 9月 8日(金)～ 9日(土) 林業ビル(広島市)
- ・ 石綿作業主任者講習 9月21日(木)～22日(金) 広島情報プラザ地下2階(広島市)
- ・ 石綿作業主任者講習 9月28日(木)～29日(金) 広島情報プラザ地下2階(広島市)
- ・ 石綿作業主任者講習 10月 3日(火)～ 4日(水) 広島情報プラザ地下2階(広島市)
- ・ 石綿作業主任者講習 10月12日(木)～13日(金) 福山商工会議所(福山市)
- ・ 管理監督者労務担当者講習会 林業ビル(広島市)
※ 日程変更 : 10月12日(木) → 17日(火)
- ・ 酸素欠乏・硫化水素作業主任者技能講習 12月13日(水)～15日(金)
※ 会場変更 : ビューポート呉 → 呉商工会議所